

# 4

## 浜松まちなか活性化イベントの企画および実施

### 事業担当者

経営学部 経営学科 中津川 智美（代表）、経営学部 経営学科 4年 小川 由依、  
経営学部 経営学科 4年 栗田 侑里、経営学部 経営学科 4年 榑林 美奈子、  
経営学部 経営学科 4年 鈴木 翔、経営学部 経営学科 4年 鈴木 司、  
経営学部 経営学科 4年 芹澤 佑、経営学部 経営学科 4年 築地 優帆、  
経営学部 経営学科 4年 深澤 竜太、経営学部 経営学科 4年 松下 達、  
経営学部 経営学科 4年 山田 悠真、経営学部 経営学科 4年 山本 朱音

### 目的・概要

一昨年から全国的にハロウィーンイベントが注目を集めており、浜松有楽街でも仮装をした若者が繰り出すなど、一大ブームの兆しを見せている。常葉大学経営学部中津川ゼミナールの学生達は、平成26年度に産学連携で行った浜松まちなか商店街活性化プロジェクトの際、商店街の来客者減少と浜松駅周辺の若者離れ、さらに若者の県外流出の問題を認識した。それらに対し、当事者である大学生自らが、活気を取り戻すための新しいムーブメントを起こそうと考え、コスプレや仮装をテーマに、浜松で初となるハロウィーンのイベントを立ち上げることにした。浜松市中心市街地において、大学生が同世代を呼び込むイベントを継続的に開催することで、新たな「にぎわい」を創出し、商店街の利益に繋げると同時に浜松市の勢いと魅力を発信することを目的に、事業を展開した。

### 事業内容・方法

#### 《イベント名称》

はままつハロウィンフェスティバル～仮装 De まちなかジャック 2015～

#### 《事業日時》

平成27年10月31日（土）10：00～20：30

平成27年11月1日（日）10：00～11：30 清掃活動

#### 《活動場所》

浜松市ギャラリーモール ソラモ、ザザシティ中央広場、ゆりの木商店街、有楽商店街、肴町発展会、第一通り発展会、鍛冶町10丁目繁栄会、松菱通り商店街

#### 《企画内容》

- ライブイベント・・・浜松市内の軽音楽部・吹奏楽部による、仮装ライブ
- 企業様用出店ブース・・・ソラモの一角を企業様に貸出、告知・PRなど宣伝の場にする
- コスプレコンテスト・・・事前、当日にスカウトした仮装者のコンテストを行う
- ミス・ミスターキャンパスコンテスト・・・県内5つの大学から男女合わせて12名が出場

- 子ども向けイベント・・・商店街に隠された合言葉を見つけると、お菓子がもらえる
- まちなかダンス SHOW!!・・・参加者の年代を問わないダンスショーを、ザザシティ中央広場にて開催
- コスプレスポット・・・ゆりの木商店街にある特定の店舗内で、コスプレの撮影ができる企画

#### 《集客人数》

目標 5,000 人 集客実績 : 8,000 人

#### 《事業連携先》

平成 27 年度浜松市中区地域力向上事業に採択された。

主な連携先は、浜松市中区振興課、浜松まちなかにぎわい協議会、遠鉄百貨店、ゆりの木商店会である。

### 事業成果

#### 《学内における発信》

- ・平成 27 年 8 月 28 日に行われた常葉学園教職員夏期研修会において、「学生主体による学外 PBL のマネジメント方法」の一事例として紹介。その後も他教員からの地域連携の方法に関する問い合わせに対応。
- ・平成 27 年 12 月 12 日の経営学部ゼミナール研究発表会ならびに平成 28 年 2 月 6 日の経営学部キャンパス交流会において、学生が活動を通じて得た学びについて発表。
- ・学内において、学部・学科の垣根を越えてイベント運営の協力を得られた。学生間の交流に繋がった。

#### 《学外における発信》

- ・中日新聞（平成 27 年 9 月 5 日朝刊 「ハロウィーンイベントで浜松街中に活気を 北区の常葉大生、準備すすめる」）
- ・静岡新聞（平成 27 年 10 月 25 日朝刊「地元常葉大生 ハロウィーンで浜松街に若者を」）
- ・静岡新聞（平成 27 年 11 月 1 日朝刊 「常葉大生グループ3会場でイベント 中区」）
- ・中日新聞（平成 27 年 11 月 1 日朝刊 「仮装でまちなか盛り上げ 大学生がハロウィーンイベント 中区」）
- ・SBS テレビ（平成 27 年 10 月 31 日）「浜松でハロウィーンイベント 仮装 De まちなかジャック」
- ・FM ラジオ（平成 27 年 8 月 5 日に FM Haro!、平成 27 年 10 月 27 日に K-mix）イベント告知

#### 《浜松市》

この事業によって、大学生が多くの方来場者を集めたことにより、ハロウィーン関連のイベントは集客できることが、周りに認識された。それにより、今年は、浜松まちなかにぎわい協議会が中心となって、一ヶ月に渡るハロウィン月間を実施して浜松市のまちなかを盛り上げる動きに繋がった。今回の事業の目的である「学生が主導する新しいにぎわいの創出」が達成されたといえる。

#### 《地元企業》

ご協力いただいた団体や企業に御礼に伺った際、「学生など若い人が中心になって、地域活性化を行うことで、企業や街を動かすことができると分かった。今後も協力したい。」などという高い評価を数多く得られた。

### 今後の展開

昨年の連携先である浜松市中区振興課ならびに浜松まちなかにぎわい協議会から強い要望があり、今年度も学生主催のイベントを継続する予定である。本事業によって、ハロウィーンという行事で浜松の街中が一体となれる機会を提供できた。常葉大学の学生がそのきっかけを作ったという自覚を保つことで、今後も浜松市とにぎわい協議会、地元商店街に協力を惜しまず、共にまちなかを盛り上げていく。

# 浜松まちなか活性化 イベントの企画及び実施

## 中津川ゼミナール

### 目的

#### 浜松中心市街地の活性化

##### 《理由》

- 商店街機能の低下

中津川ゼミナールにおける平成 26 年度地域活性化事業の際、商店街店舗に多くのシャッターが下りていることを目の当たりにした。浜松駅周辺には多くの商店街が存在している。しかし、各商店街が単独で活動していることを認識した。

- 大学進学に伴う若者の県外流出問題

浜松の街中の人通りが減少していることを、地元の方から伺い、調査した。その際、18～22 歳までの大学生世代が浜松から多く県に流出していることが分かった。

### 方法

#### ◆ 継続的なハロウィンイベントの開催

- ◆ 浜松の街中で、商店街を巻き込んだ、

若者向けハロウィンイベントを継続的に開催する

##### 《理由》

現在、若者の間でハロウィンイベントが流行している。若者が楽しめるイベントを行うことにより、それ自体が浜松の魅力となる。

継続的にイベントを行い、若者にその魅力を感じてもらうことで、

将来的な若者の県外流出の歯止めになることを見込んだ。

- ミス・ミスキャンパスコンテスト

県内 5 つの大学から出場者を募り、男女一各ずつグランプリを決定する

- 子ども向けイベント～探せ！お宝キーワード～

商店街に隠された合言葉を見つけ出し正解していたら、お菓子がもらえる

- まちなかダンス SHOW!!

参加者の年代を問わないダンスショーを、ザザシティ中央広場にて開催

- コスプレスポット

ゆりの木商店会の店舗で、コスプレの撮影ができる

### 広報

#### 《内容》

昨年初めての開催となった「はままつハロウィンフェスティバル～仮装 De まちなかジャック 2015～」のイベントをより多くの方に知ってもらうため、広報活動を行いイベントの認知拡大に努めた。商店街にポスター、チラシを掲示することにより、幅広い世代へ告知を行った。SNS(Twitter・Facebook・HP・アプリ)では、若者に向けて、告知をおこなった。

その他にも、新聞・ラジオ・学内掲示・テレビで告知を行った。

#### 《目的》

浜松市民へのイベント認知、集客

SNS 使用により、県内外への宣伝、集客

ラジオやテレビにより幅広い年代への宣伝、集客

#### 《効果》

当日の集客・イベントの認知・協力企業の認知

### 企画概要

#### 「はままつハロウィンフェスティバル ～仮装 De まちなかジャック 2015～」

##### 《テーマ》

仮装

##### 《事業日時》

平成 27 年 10 月 31 日(土)10:00～20:30

平成 27 年 11 月 1 日(日)10:00～11:30 清掃活動

##### 《活動場所》

浜松市ギャラリーモール ソラモ、ザザシティ中央広場

ゆりの木商店街、有楽商店街、肴町発展会、第一通り発展会、

鍛冶町 10 丁目繁栄会、松菱通り商店街

##### 《活動期間》

平成27年5月初旬～平成28年1月初旬（企画から決算までの期間）

### 各イベント内容

- ライブイベント

浜松市内の軽音楽部・吹奏楽部による、仮装ライブ

- 企業様用出店ブース

ソラモの一角を企業様に貸出、告知・PR など宣伝の場にする

- ガチンコ!!!!コスプレコンテスト

事前、当日にスカウトした仮装者のコンテストを行う

### 成果

#### 《浜松市》

今回我々学生が、多くの集客をしたことにより、ハロウィンのイベントは集客できることが、周りに認識された。そのため、浜松市やはままつにぎわい協議会等が、一ヶ月に渡り、ハロウィン月間を実施する。また、昨年のメイン会場である、遠鉄百貨店1階のギャラリーモールソラモが、ハロウィンの時期に集客できることが判明したため、今年は各団体が一年前から会場をおさえた。

#### 《企業様》

ミスキャンパスの出場者が、ハロフェス協力企業のモデルとして、起用され、新たな地域貢献を行っている。協賛企業様から、「学生など若い人が中心になって、地域活性化を行うことで、企業や街を動かすことができると分かった。今後も協力したい。」とのお声をいただいた。

昨年のハロフェスを受け、今年のイベントにも企業様に興味を持っていただき、趣旨である「イベントの継続性」に繋がっている。

### 改善点

- ①こちらの意見を明確にした上で協力団体に早めに意思を伝える。
- ②自分の仕事だけに集中しすぎず、周囲に気を配る。
- ③運営マニュアルとクレーム対応マニュアルを用意する。
- ④最悪の事態を想定して、対策を考える。
- ⑤当日の流れを全員が把握しておく